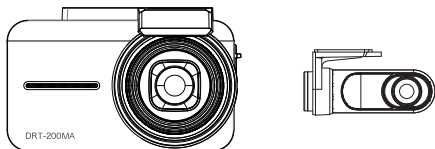


Diletto

DRT-200MA リアカメラ付ドライブレコーダー

取扱説明書



この度は、ドライブレコーダー「DRT-200MA」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を使用する前に、本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
読み終わりましたら、大切に保管してください。なお、本取扱説明書の見返しに保証書が掲載されています。

また、車への取り付けは、必ず取扱説明書の「セットアップ」に従って、正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品をご使用すると、事故や怪我の原因となる可能性があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

＜販売店様へ＞

取り付けが完了しましたら、本取扱説明書はお客様へお渡しください。

＜免責事項について＞

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00 (土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp

輸入元：株式会社イノベティブ販売

〒343-0003

埼玉県越谷市船渡68-8

<http://www.innovativesale.co.jp/>

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- オプション品の常時電源ケーブルを使用した際の駐車監視機能は、車両のバッテリーを使用します。そのため、車両のバッテリーに負担がかかりますので、定期的に点検をしてください。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は、録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHCやmicroSDXCカードを便宜上、「microSD」および「SDカード」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
※microSD カードは製品の性質上、寿命による破損は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください

目次

はじめに

■microSDカードについて	1～3
■安全上のご注意(必ずお守りください)	4～6
■使用上のご注意(必ずお守りください)	7
■商品構成一覧表	8
■各部の名称と働き	9

準備

■取り付け	10～14
■micro SDカードの挿入・取り外し	15
■micro SDカードのフォーマットについて	16
■電源オン・オフ	17～18

操作方法

■本体操作ボタン(ファンクションボタン)	19
■録画について	20～22
■画面表示	23～25
■画面モード	26
■メニュー画面	27
■各種設定	28～33
■安全運転支援機能	34～36
■再生モード	37～39
■駐車監視機能(駐車監視モード)	40
■PCビューワー	41

その他

■トラブルシューティング	42
■専用常時電源ケーブルについて	43～44
■その他	45～46
■製品仕様	47

microSDカードについて

●microSDカードのフォーマットとは？

フォーマットとは、microSDカード内のデータを初期化することであり、長期間、microSDカードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイル断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせずお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSDカードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくため、製品お買い上げ時および1週間ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSDカードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSDカード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSDカードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください



本製品をご使用する前には、必ずmicroSDカードをフォーマットしてください。
フォーマットしないとご使用できません。



安定してご使用いただくため、microSDカードを定期的にフォーマットしてください。
※推奨：1週間ごと

SDカードのフォーマットについての操作方法は、
P16を参照してください。

microSDカードについて

●microSDカードの注意事項

- ・本機を使用するときは、microSDカードが必要です。付属のmicroSDカードは本機専用です。
- ・本製品使用時は付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用した場合、正しく録画ができない場合があります。
- ・付属品以外の市販品microSDカードの互換性は保証できませんので、付属品と同一のmicroSDカードをお使いになることをおすすめします。
- ※オプション品のmicroSDカードをお求めの場合はサービスセンターまでお問い合わせください
- ・本機は16GB以上(Class10以上)のmicroSDカードに対応していますが、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- ・UHS-I規格の製品はClass10を謳っていても動作しない場合があります。
- ・市販品のmicroSDカード全てに対応していません。
- ・市販品のmicroSDカードを使用する場合、スピードやクラスによっては、記録されない場合やデータを正しく保存できない場合があります。また、記録データ時間や保存可能データ数が変動する場合があります。
- ・市販品のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- ・市販品のmicroSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- ・microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
- ※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります
- ・安定してご使用いただくため、定期的にmicroSDカードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- ・長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください
- ・フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- ・microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- ・microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- ・microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- ・microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- ・microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めて、本体の電源をオフにしてください。電源が入っている状態でmicroSDカードの抜き差しをすると、microSDカード自体およびファイルが破損する場合があります。
- ・microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- ・変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- ・本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- ・microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- ・microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- ・microSDカードのエラー発生時、記録した録画ファイルや静止画ファイルを復旧できない場合があります。
- ・あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- ・フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- ・フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ・microSDカード内に本機で録画したデータおよび本機による生成ファイル以外を格納した状態で使用しないでください。
- ・正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。その場合は、フォーマットを行ってください。
- ・重大な事故などで電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- ・思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- ・専用駐車監視ケーブルを使用して長時間録画を行う場合、録画データが上書きされる場合がありますので、ご注意ください。
- ・専用駐車監視ケーブルを使用して駐車監視録画を行う場合、microSDカードへ録画記録を続けるため、microSDカードの寿命が短くなる可能性があります。

microSDカードについて

●オートフォーマット機能について

- ・本製品は、microSDカードのフォーマット忘れを防ぐため、「オートフォーマット」機能を搭載しています。
- ・オートフォーマットは、毎月1日に電源をオンした場合、自動的にフォーマットを行う旨をお知らせするメッセージ画面が表示されます。
- ・一度メッセージが表示されると、次の表示は翌月となります。
- ・毎月1日に電源をオンしなかった場合は、当月、初めて電源オンした時に機能が働きます。

オートフォーマットメッセージ画面



オートフォーマットが機能した場合、アラート音と共に画面にメッセージが表示されます。

【フォーマットをする場合】

約20秒後に自動的にフォーマットを行います。

【フォーマットをしない場合】

キャンセルを選択します。

キャンセルを選択すると、フォーマットを行いません。



注意

- フォーマットを行うと、microSDカード内にあるファイルが全て消去されますので、大切なデータはパソコンへコピーして保管してください。
- 本画面が表示されている間は、録画を行いませんので、あらかじめご注意ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」および「ご使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載されている注意事項は、お使いになる方、他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

また、交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項



警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください（ヒューズ＝3.15A）。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けけない



運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない



ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない



走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる



車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vおよび24Vマイナスアース車で使用する

 DC12V、24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

 あやまって、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

 内部に金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない

 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理をする

 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  を外しておく

 バッテリーのマイナス  端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

日本国内のみで使用する

 本機は日本国内のみで使用できます。海外では使用できません。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

本機の通気孔を塞がない

 本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する。

 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

車載用以外には使用しない

 車載用以外 (例えばレジャーボートやアウトドア等) に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

 ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けけない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・煙の多い場所に取り付けけない

 雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

 強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因となるので、接触禁止

 雷が鳴り出したら、本体や電源ケーブルには触れないでください。感電の原因になることがあります。

使用上のご注意 (必ずお守りください)



注意

取り付け中はエンジンを切る



本機の実付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で行付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない



本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちる可能性があります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

TVやラジオ、GPSアンテナから20cm以上離してください。



各種アンテナから本機を20cm以上離して設置してください。誤作動の及び故障の原因となることがあります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない場合があります。

microSDカードの容量越えを注意する

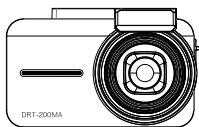


緊急録画で記録されたファイルは保存するフォルダが上限に達すると、古いものから上書きされます。こまめなバックアップをお勧めします。

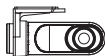
- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転を心がけてください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。



■ドライブレコーダー本体



■リアカメラ



■リアカメラ延長ケーブル(約8m)



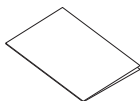
■取り付けステー



■micro SDカード(16GB) ※本体に装着



■シガー電源ケーブル



■取扱説明書



■保証書

シガー電源アダプターについて

- 付属のシガー電源アダプターは、車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐されたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因となることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

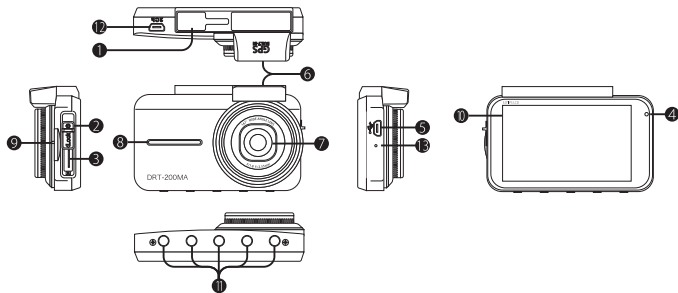
常時電源ケーブルについて(オプション品)

- 必ず、専用の常時電源ケーブル(MA2)をお使いください。専用品以外を使用した場合、本製品或いは車両バッテリーに損傷する場合があります。
- 駐車監視モードを使用する場合、車両バッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検をおこなってください。
- 常時電源ケーブル(MA2)をご使用する際は、専用ソフトウェアを本体にインストールする必要があります。
→本書のP.43をご参照ください

取り付けステーのご使用について

- 付属の取り付けステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバッグなどの安全装置の働きをさまたげないようにお取り付けください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり、異物はテープに影響があり、落下、脱落する恐れがあります。

各部の名称と働き



1 ジョイントレール

取り付けステーをはめ込みます。

2 電源ボタン

下方向へスライドすると、電源がオンになります。
上方向へ戻すと、電源がオフになります。

3 microSDカードスロット

microSDカードを入れて使用します。

4 電源ランプ

本機動作状況を表示します。

- ・通常録画中＝赤色点滅
 - ・録画停止中＝緑色点灯
 - ・駐車監視スタンバイ中＝緑色点灯
 - ・電源スイッチがオフの場合＝橙色点灯
- ※電源が供給されている場合

5 mini-USB端子(電源接続口)

付属のシガー電源ケーブルを接続します。

6 GPSアンテナ

GPSアンテナが内蔵されています。

7 レンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼られています。
ご使用前に剥がしてください。

8 スピーカー

記録されたファイルの音声と各種警告音声を出力します。

9 マイク

周りの音を収集します。
※設定をオフにした場合は機能しません

10 液晶モニター

3.0インチ液晶(タッチパネル操作はできません)

11 ファンクションボタン

→P.19参照

12 リアカメラ延長ケーブル接続端子

リアカメラ延長ケーブルを接続します。

13 リセットボタン

本機を再起動します。



注意

- 取り付けステーは、無理な力ではめたり、取り外しをしないでください。破損する恐れがあります。
- 専用の各種ケーブルおよびリアカメラ以外は絶対に使用しないでください。正常に作動しなくなったり、故障する可能性があります。
- 電源がオンの状態でリアカメラ延長ケーブルを抜き差ししないでください。正常に作動しなくなったり、故障する可能性があります。
- 本機が動かなくなった場合、リセットボタンを押下することで再起動します。先の細いピンなどで押してください。

取り付け

付属の取り付けステーを使って、車に本機を取り付けます。



取り付けのご注意

本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

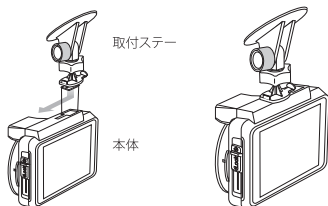
- 本機を取り付ける前に安全な視野を確保して、性能を十分に発揮するため、以下の内容をご確認の上、取り付けてください。
指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となる場合があります。
- 道路運送車両の保安基準、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 運転や視界の妨げとなる場所には取り付けしないでください。
- フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
- フロントガラス以外には取り付けしないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 湾曲している面には取り付けしないでください。また、確実に取り付けられていることを確認してください。固定されず、脱落する可能性があります。
- 同梱品の取り付けステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 極端に貼り付け面が低温状態の場合、そのまま取り付けステー（両面テープ）を取り付けると、粘着力が弱まる可能性があります。ドライバーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。また、製品に直接ドライバーの熱が当たらないよう、ご注意ください。
- 専用の常時電源ケーブル以外は使用しないでください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機や常時電源ケーブルが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。範囲外に取付けた場合、ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が鮮明でない場合があります。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、絶対に取り付けしないでください。事故の際、安全装置が動かず、けがの原因となります。
- 取り付け位置によっては、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合があります。適切な位置を確認して取り付けを行ってください。
- 取り付けの際は、レンズを傷つけないように注意してください。また、取り付けの際、レンズに触れてしまうとレンズに汚れが付着したり、曇ったりして、映像焦点がズレてしまいますので、取付けの際はレンズに触れないよう、ご注意ください。
- レンズの汚れが目立つ時は、乾いた布で軽くレンズを拭いてください。
※濡れた布や傷がつきやすい布等で拭かないように注意してください。また、パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- 実際の映像を確認しながら取り付けを行ってください。
- 取り付けステーの剥がれ、ケーブルの緩み、配線の断線や緩み等がないか、定期的点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となる場合があります。
- 地デジやラジオ、ETC等のアンテナ近くには設置しないでください。また、地デジやラジオ、ETC等のコードと一緒に束ねないようにしてください。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けしてください。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。本機および、他の車載製品が誤動作を起こす可能性があります。
- 運転の妨げにならないよう、市販のコードクランプやインシュロック等を使用し、確実に配線の取り回しをしてください。
- リアウィンドウがプライバシーガラスになっている場合やフィルムを貼っている場合、夜間の記録映像は見えにくくなります。
- 両面テープの貼付け面がリアウィンドウの熱線と重ならないように取り付けてください。

取り付け

本体取り付け(フロント)

取付ステー装着

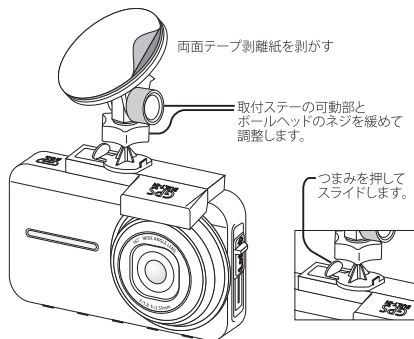
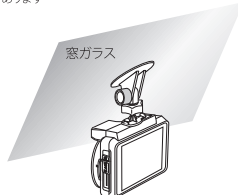
- 1 ステーを取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれいに取り除いてください。
- 2 取り付けステーを本体のジョイントレールに合わせて矢印の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて、本体を装着してください。



フロントガラスに装着

- 1 取り付けステーの両面テープから保護フィルムをはがして、フロントガラスに貼り付けてください。

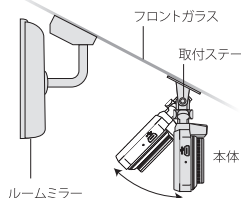
※ 固定力を強くするために、本体を取り付け後24時間以上放置してください
※ 貼り直しはテープの粘着力が弱まり、脱落する恐れがあります



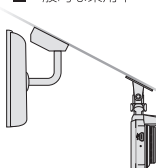
フロント推奨取り付け方法(例)

取り付け位置(正面)

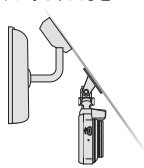
- 1 ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の映像を録画できます。



■一般的な乗用車



■ワンボックスなど

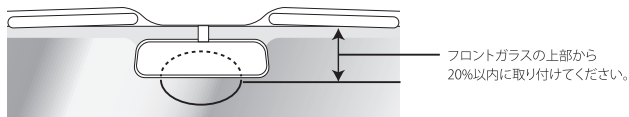


取り付け

推奨取り付け位置 (例)

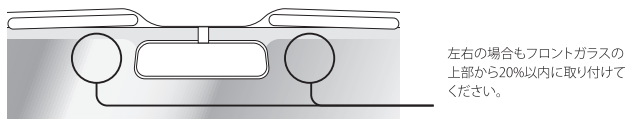
取り付け位置 (正面)

- 1 ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の映像を録画できます。



- 2 ルームミラーの後部、フロントガラスの中央部に設置できない場合は、ルームミラーの左側もしくは右側にも設置することができます。

※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります

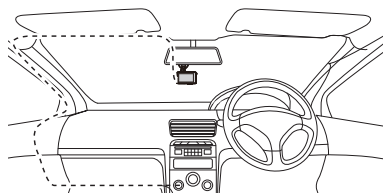


配線 (例)

本体のmini-USB端子 (電源接続口) へシガー電源アダプターを接続します。

次に、車両のシガーソケットにシガー電源アダプターを接続します。

※この時、車のエンジンはオフ (アクセサリーオフ) の状態で接続してください

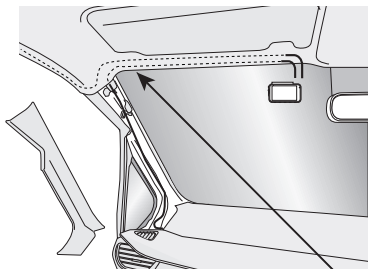


シガーソケットから電源を取ります。

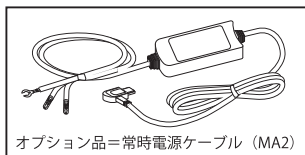
取り付け

＜オプション品の専用常時電源ケーブルを取り付ける場合（専用常時電源ケーブル＝MA2）＞

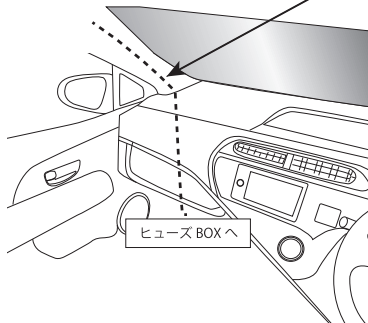
常時電源ケーブルの配線例



常時電源ケーブルをピラー内に配線し、
ヒューズボックスへ引き回します。



オプション品＝常時電源ケーブル（MA2）



注意

- 運転に使用をきたす場所へは絶対に配線しないでください。
- ケーブル類はコードクランプやインシュロック等を使用し、取り回してください。
- 上記の取り付け・配線はイメージです。車両によってはピラーの位置やヒューズBOX等の場所が異なりますので、車両の取扱説明書をよくお読みになって配線してください。

取り付け

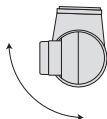
リアカメラ取り付け

リア推奨取り付け位置 (例)

取り付け位置

- 1 リアガラスの上部に貼り付け、角度調整することで、最適の映像を録画できます。

■一般的な乗用車



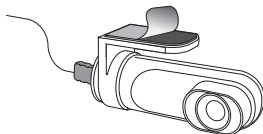
■ワンボックスなど



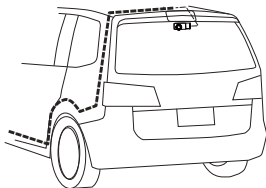
リアガラスに装着

- 1 取り付けステーの両面テープから保護フィルムをはがして、リアガラスに貼り付けてください。

- ※ 固定力を強くするために、本体を取り付け後24時間以上放置してください
- ※ 貼り直しはテープの粘着力が弱まり、脱落する恐れがあります



配線 (例)



バックドアやトランクをゆっくり開閉して、配線が挟まれていないかを確認してください。

本体およびリアカメラ、ケーブル類に損傷ができると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損、故障の原因となります。

※ 左図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リアカメラケーブルの取り回しにより、車内上部（ルーフ、内張内等）を通す必要があります



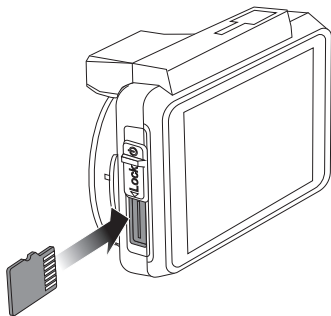
注意

- 本機に電源が入っている状態で、リアカメラケーブルを抜くと、システム保護のため、本機は再起動します。
- 電源がオンの状態でリアカメラケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。
- 取付け後両面テープがしっかりと貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントウィンドウ、リアウィンドウに貼り付いていないと剥がれることがあります。

microSDカードの挿入・取り外し

microSDカードの挿入と取り出し

- 1 電源ボタンをスライドさせて、microSDカードを挿入してください。
- 2 microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。
※microSDカードの向きにご注意ください
※無理に抜き差しすると本機の故障、破損およびデータ破損の原因となります
- 3 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください
- 4 microSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。
※microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※事故発生時に記録された映像データが壊れないように、microSDカードを抜いて保管してください。



micro SDカードについて

はじめてお使いになる場合、まずmicroSDカードをフォーマットしてください。

microSDカードのフォーマット

microSDカードをフォーマットするには下記の手順に従って操作してください。

- 1 同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認する。
- 2 車両のエンジンをかけて、本体に電源を入れる。
※本機に電源入ると、録画を開始します
- 3 自動的に録画が開始されるので、録画停止ボタンを押下します。



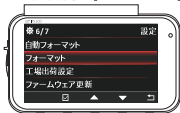
[■] : 録画停止ボタン

- 4 メニューボタンを押下する。

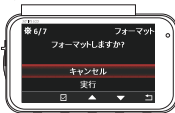


[☰] : メニューボタン

- 5 メニュー画面内の[フォーマット]を選択する。



[決定] ボタンを押下



「実行」を選択して[決定] ボタンを押下



注意

本機を使用する前に、microSDカードを本機でフォーマットする必要があります。

■ microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。

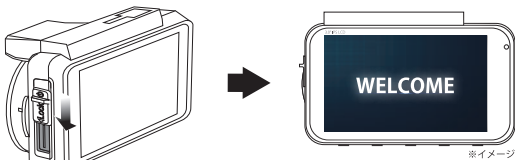
あらかじめパソコンにバックアップすることをおすすめします。

■ フォーマットしている際、途中で電源をオフしないようご注意ください。フォーマット中に電源をオフすると、本機やmicroSDカードの破損・故障等の原因となることがあります。

電源オン・オフについて

電源オン

- 1 シガー電源ケーブルまたはオプション品の常時電源ケーブルを接続してください。
※ケーブルの抜き差しを行う際は、エンジンがオフになっている状態で行ってください
- 2 電源ボタンを図のように下方向にスライドすると、オープニングロゴ画面が表示され、電源が入ります。



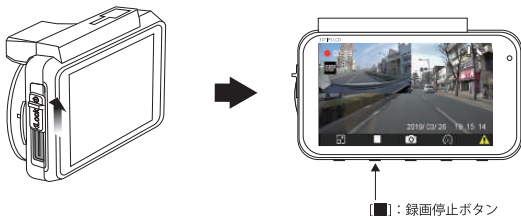
注意

- 本機は、エンジン連動機能が搭載されているため、電源ボタンを下方向にスライドした状態にしておくことで、車のエンジンオンで自動的に電源が入るようになります。また、車のエンジンをオフにすることで、自動的に電源がオフとなります。

※駐車監視モードが[オン]の場合は、車のエンジンをオフにすると、駐車監視モードに切り替わります

電源オフ

車のエンジンを切って、本体に電源供給がされなくなると、数秒後に本機は自動的に電源オフになります。
電源ボタンを図のように上方向にスライドすると、電源オフになります。



※録画を停止したい時は、録画中にファンクションボタンの録画停止ボタンを押下します

※駐車監視モードが[オン]の場合は、車のエンジンをオフにすると、駐車監視モードに切り替わります

電源オン・オフについて



注意

■ 電源供給について

本機は安全上の考慮から、バッテリーを内蔵しておりませんので、シガー電源アダプターまたはオプション品の常時電源ケーブルから電源供給されていない場合は、電源をオンにすることはできません。

■ エンジン連動オン機能について

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した際に、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、本体側の電源スイッチで電源を入れるようにしてください（バッテリーや配線を見直しをしてください）。

また、車種によっては、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。あらかじめご了承ください。

■ スーパーキャパシタについて

本機は、データ保護用のバックアップ電源であるスーパーキャパシタを搭載しています。長期間、本機を使用しなかった場合は、スーパーキャパシタへの充電不足となり、エンジンオン時に電源が入らなかったり、起動までに時間がかかる場合があります。その場合、本機への通電を行い、スーパーキャパシタへ充電するようにしてください。

■ アイドリングストップ車での電源オフについて

アイドリングストップ車で本機をご使用される場合、車両のバッテリー電圧コンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源がオフとなる場合があります。その場合、本体側の電源スイッチで電源を入れるようにしてください。

■ 電源オフ/オンのタイミングについて

本機の電源をオフにした直後、再度電源をオンした場合、内部のメモリ保護回路が働くため、電源が入らない場合があります。電源をオフにしてから約5秒～10秒以上経過した上で、再度、電源をオンにしてください。

本体操作ボタン(ファンクションボタン)

本体操作(ファンクション) ボタンについて



1 ファンクションボタン表示

録画中と録画停止中で表示内容が異なります。
※以下では、ボタンの働きについて説明しています

2 電源スイッチ

電源スイッチをスライドすることで電源のオン・オフができます。

3 画面表示モード切替ボタン

画面表示モードを切り替えます。
→P.23 参照

4 録画 / 録画停止ボタン

録画を開始・停止します。
[録画中]・・・録画停止 (■)
[録画停止中]・・・録画開始 (■▶)

5 静止画撮影 / 音声録音切替ボタン

静止画撮影または音声録音設定を行います。
[録画中]・・・静止画撮影 (📷)
[録画停止中]・・・音声録音の切替設定 (音声録音する: 🗣️ / 音声録音しない: 🚫🗣️)

6 3グリッドファンクション画面切替 / 再生モードボタン

[録画中]・・・3グリッドファンクション画面に切り替えます (📐)。
※「3グリッドファンクション」画面時にもう一度ボタンを押下すると、通常画面に切り替わります
→P.25 参照
[録画停止中]・・・再生モード画面に切り替えます (🎞️)。

7 緊急録画 / メニューボタン

緊急録画を行います。
[通常録画中]・・・緊急録画を開始します (⚠️)。
※緊急録画中は通常画面の右上に『緊急録画』と表示されます →P.20 参照
[録画停止中]・・・メニュー画面に切り替えます (☰)。

録画について

録画種別について

録画の方式:ループ録画と緊急録画

■ ループ録画 (通常録画)

本機の設定により、1分間または2分間のループ時間で録画することができます。
microSDカードの容量 (通常録画フォルダ) を超えると、古いファイルから順番に上書きされます。

ループ録画



■ 緊急録画

1 緊急録画とは...

本機に搭載されているGセンサーが衝撃を検知すると、緊急モードで録画を開始します。緊急録画が開始されると、画右上に「緊急録画」が表示されます。

2 緊急録画形式

衝撃を検知すると、現在録画しているファイルを緊急ファイルとして保存します。発生タイミングにより、ファイルの保存方法が以下に変わります。



★1 動画②の最初10秒以内に衝撃を検知した場合、動画①と動画②を緊急ファイルとしてロックします。

★2 動画②の最初と最後の10秒以外 (★1、★2) に衝撃を検知した場合、動画②のみを緊急ファイルとしてロックします。

★3 動画②の最後10秒以内に衝撃を検知した場合、動画②と動画③を緊急ファイルとしてロックします。

※ ループ録画設定が1分の例です。2分の場合も、前後保存の定義は同じとなります

3 緊急録画終了

緊急録画が終了すると、画面右上の「緊急録画」表示が消えて、ループ録画 (通常録画) に戻ります。

■ 駐車監視録画 (駐車監視モード) → P.36 (駐車監視録画について)

1 駐車監視モードとは...

本機には、駐車監視機能が搭載されています。駐車監視モード設定がオンすることで、エンジンオフ時の駐車中も録画を行うことができます。

2 駐車監視録画

駐車監視モード中、衝撃を検知すると、約30秒間の録画を行います。

※ 駐車監視録画は、「緊急録画」の録画形式とは異なり、衝撃を検知した時から約30秒間録画します

3 駐車監視録画終了

30秒間の駐車監視録画が終了すると、駐車監視録画スタンバイに戻ります。



注意

■ 通常時、緊急録画の衝撃感知が弱い (感度が低い) 場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は衝撃感知の設定を見直してください。

■ 駐車監視モード時の衝撃感知については、Gセンサーとは連動しておりません (内部固定となります)。

■ 駐車監視機能を使用するためには、オプション品の常時電源ケーブルが必要です。

録画について

録画フォルダについて

microSD カードに録画、静止画データ保存される際、以下のようなフォルダ構成となります。
録画の種類により保存されるフォルダが異なります。

リムーバブルディスク (I:)	
DCIM	ルートディレクトリ
Emergency	緊急録画フォルダ
ParkingMode	駐車監視録画フォルダ
Photo	静止画フォルダ
Video	ループ録画（通常録画）フォルダ

録画ファイルと保存先フォルダについて

録画ファイルと各ファイルの保存先については以下の通りとなります。

録画ファイル	保存先フォルダ	ファイルロック
ループ録画（通常録画）ファイル	ループ録画（通常録画）フォルダ	しない（上書きされる）
緊急録画ファイル	緊急録画フォルダ	する（上書きしない）※
駐車監視録画ファイル	駐車監視録画フォルダ	しない（上書きされる）
静止画ファイル	静止画フォルダ	しない（上書きしない）

※緊急録画ファイルのみ、設定により「上書きする／上書きしない」を選択することができます

録画ファイルのファイル名について

各フォルダへ保存されるファイルは以下の通りとなります。
フロントカメラ映像とリアカメラ映像はファイル名が異なります。
また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

映像ファイル

20200208_123456A.MOV
記録日付 記録時間 拡張子

A：フロントカメラで撮影したファイル
B：リアカメラで撮影したファイル

静止画ファイル

20200208_123456A.JPG
記録日付 記録時間 拡張子

A：フロントカメラで撮影したファイル
B：リアカメラで撮影したファイル



注意

- 「緊急」とは、緊急録画ボタンを押した場合または衝撃を感知した場合という意味です。
- 緊急録画中、緊急録画ボタンを押した場合または衝撃感知した場合、録画は延長されません。
- 駐車監視録画ファイルは、ロック（保護）されませんが、再生ファイルにはロックアイコンが表示されます。
- フロントカメラのみで使用している場合、フロントカメラの録画ファイルのみ生成されます。

録画について

録画ファイル保存について

録画種別により、フォルダ内のファイル保存数が異なります。

▼microSD カードサイズが 16GB（標準付属品の microSD カード）の場合

ループ録画設定	ループ録画・静止画	緊急録画	駐車監視録画
1 分	12GB	20 ファイル（2GB 相当）	40 ファイル（2GB 相当）
2 分	10GB	20 ファイル（4GB 相当）	40 ファイル（2GB 相当）

▼microSD カードサイズが 32GB（標準付属品の microSD 以外）の場合

ループ録画設定	ループ録画・静止画	緊急録画	駐車監視録画
1 分	28GB	20 ファイル（2GB 相当）	40 ファイル（2GB 相当）
2 分	26GB	20 ファイル（4GB 相当）	40 ファイル（2GB 相当）

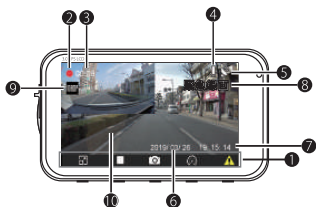


- ループ録画（通常録画）と静止画フォルダは合算となります。
- 映像データ1分＝約100MBを基準として算出しています。
- 上記は理論値のため、目安となります（システムデータ領域も含まれます）。
- 被写体や撮影条件等によりデータサイズが変化します。
- フロントカメラ映像とリアカメラ映像のそれぞれが1ファイルとして保存されます。
- フロントカメラのみを使用している場合（リアカメラが接続されていない状態）、フロントカメラ映像ファイル数のみでカウントされます。
- microSD カードのサイズ容量を 32GB 以上に変更した場合でも、緊急録画と駐車監視録画の記録ファイル数は、「緊急録画ファイル＝20 ファイル」、「駐車監視録画ファイル＝40 ファイル」と固定となり、変動しませんので、ご注意ください（ループ録画・静止画ファイルの保存容量は microSD カードの容量に依存します）。
- ループ録画フォルダ、駐車監視録画フォルダはファイルがいっぱい（保存フォルダ内の上限に達した時）になると、古いファイルから上書きします。
- 緊急録画フォルダがいっぱいになった場合、設定により[上書きする/しない]を選択することができます。[上書きする]に設定している場合は、緊急録画ファイルが上書きされますので、ご注意ください。
- 静止画フォルダ内のファイルがいっぱいになると、静止画撮影ができなくなります（静止画ファイルは上書きされません）。
- 緊急録画フォルダの上書き設定が[上書きしない]設定の場合かつ緊急録画フォルダがいっぱいの場合、「ファイルが一杯です」とアラートメッセージが表示されます。この場合、緊急録画撮影ができなくなりますので、パソコン等へデータをバックアップして、容量を確保するようにしてください。
- 大切なデータは、上書きされないよう、あらかじめパソコン等にバックアップしてください。

画面表示

画面表示内容について(録画中画面)

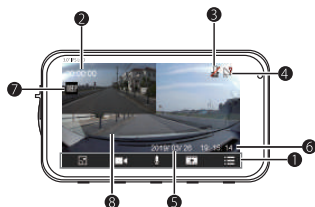
- 1 ファンクションボタンアイコン**
ファンクションボタンのアイコンを表示します。
→P.15
- 2 録画マークアイコン**
録画中は (●) アイコンが点滅表示されます
- 3 録画時間**
録画記録時間を表示します。
- 4 音声録音アイコン**
音声録音の設定アイコンを表示します
- 5 GPS 受信アイコン**
GPS が受信している場合、GPS アイコンを表示します (●)。
GPS が受信できない場合、(●) が表示されます。
- 6 日付表示**
現在の日付を表示します。
※本画面にて、何も操作が行われなかった場合、約 1 分後に表示が消えます
※再度、表示させる場合はボタン操作をすることで再度表示されます
- 7 時刻表示**
現在の時刻を表示します。
※本画面にて、何も操作が行われなかった場合、約 1 分後に表示が消えます
※再度、表示させる場合はボタン操作をすることで再度表示されます
- 8 緊急録画アイコン**
緊急録画中に表示します。
- 9 解像度アイコン**
1080P を選択している場合、FHD 解像度アイコン (FHD) を表示します。
720P を選択している場合、720P 解像度アイコン (720P) を表示します。
※フロントカメラのみを使用している場合 (リアカメラ延長ケーブルが挿さっていない状態)、
解像度の選択ができません
- 10 画面**
カメラ画面が表示されます。



画面表示

画面表示内容について(録画停止中画面)

- ファンクションボタンアイコン**
ファンクションボタンのアイコンを表示します。
→P.15
- 録画残容量時間**
通常録画の録画可能残時間を表示します。
- 音声録音アイコン**
音声録音の設定アイコンを表示します
- GPS 受信アイコン**
GPS が受信している場合、GPS アイコンを表示します ()。
GPS が受信できない場合、() が表示されます。
- 日付表示**
現在の日付を表示します。
- 時刻表示**
現在の時刻を表示します。
- 解像度アイコン**
1080P を選択している場合、FHD 解像度アイコン () を表示します。
720P を選択している場合、720P 解像度アイコン () を表示します。
※フロントカメラのみを使用している場合(リアカメラ延長ケーブルが挿さっていない状態)、
解像度の選択ができます
- 画面**
カメラ画面が表示されます。



注意

- 録画を停止した場合、録画ボタンを押下しないと、録画されません。

画面表示

画面表示内容について(3 グリッドファンクション画面)

- 1 **現在時刻表示**
現在の時刻を表示します。
- 2 **コンパス表示**
自車位置の方位を表示します。
※環境によっては誤差があります
- 3 **スピード表示**
自車の速度情報を表示します。



※「3 グリッドファンクション」画面時、再度 [3 グリッドファンクション画面切替] ボタンを押下すると、通常画面に切り替わります →P.15



注意

- 各表示については、GPSが受信している場合に限りです。
- コンパス表示は、自車位置の環境や状態からGPS受信の誤差により、ズレが発生する場合があります。
- 速度情報は、車両のスピードメーターの速度計測方法とは異なるため、表示される速度に差が生じる場合があります。また、停車中であっても、速度表示が「0Km/h」にならない場合がありますが、これはGPS受信の誤差によるものであり、故障ではありません。

画面表示モード

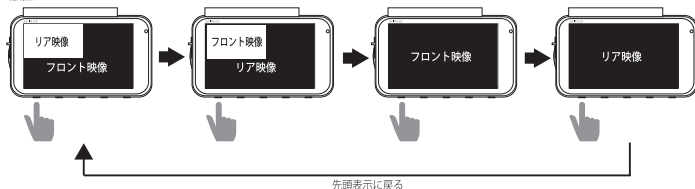
画面モードについて

画面表示モード切替ボタンを押下すると、画面モード（表示方法）を切り替えることができます。

<画面モードの順番は以下の通り>

フロント（メイン）&リア（ワイプ） リア（メイン）&フロント（ワイプ）

※初期値



注意

- 画面モードを初期画面の[フロント（メイン）&リア（ワイプ）]以外に設定している時でも、電源をオフし、再度電源をオンすると、初期画面の[フロント（メイン）&リア（ワイプ）]に戻ります。
- リアカメラが接続されていない場合は、画面モードの切り替えはできません。

メニュー画面

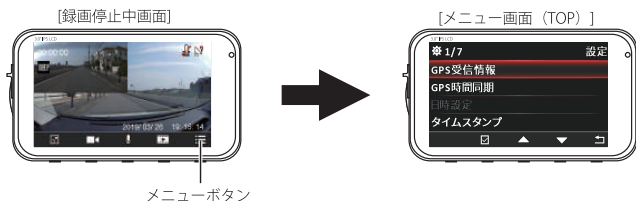
メニュー画面について

メニュー画面では、本機に関する設定が行えます。また、設定内容を工場出荷状態に戻すことができます。その他、microSDカードのフォーマット操作や本機のバージョン情報を確認することができます。

<メニュー画面への入り方>

録画停止中にファンクションボタンの（ ≡ ）を押下します。

※録画中はメニュー画面に切り替えることができません



メニュー画面中の操作について

- 1 **決定ボタン**
各種設定の選択項目を決定する時に押下します。
- 2 **▲(UP) ボタン**
ページ切り替え時や選択項目を上移動する時に押下します。
- 3 **▼(DOWN) ボタン**
ページ切り替え時や選択項目を下移動する時に押下します。
- 4 **BACK ボタン**
一つ前の画面に戻る時に押下します。
- 5 **ページ数**
メニュー画面のページ数を表示します。
- 6 **カーソル (ハイライト)**
現在選択されているメニュー項目をカーソル表示します。



⚠ 注意

- メニュー項目画面中、約15秒間無操作状態が続くと、自動的に録画中画面に切り替わり、ループ録画が開始されます。
- ▲(UP)、▼(DOWN) ボタンを長く押すことで、設定項目の連続カーソル移動ができます。
- メニュー画面内の各種設定項目は「決定」の操作を実行しないまま、画面を切り替えたり、15秒間の無操作が続き、画面が切り替わった場合は、設定値が反映されません。

各種設定

メニュー画面について

※太字は初期値

設定項目	設定内容	設定値
GPS受信情報	GPS受信状態を表示します。	表示のみ
GPS時間同期	GPS受信時間を本体に同時します。 [オン] : GPS受信すると自動的に 日時を設定/校正します [オフ] : 日時設定が必要です	オフ/ オン
日時設定	日付および時刻の設定をします。 ※設定する日時や時刻を間違えると、 録画ファイルの上書きが正しくされ ない場合がありますので、正確な 日時を設定してください	YYYY/MM/DD HH:MM:SS ※GPS時間同期設定をオフにしてい る場合のみ、設定可能となります
タイムスタンプ	録画ファイルに日時を記録するかを 設定します。	オフ/ オン
解像度設定	カメラ映像の解像度を設定します。 [1080P] : フルHD画質（高解像度） で撮影します [720P] : HD画質で撮影します	1080P / 27.5fps（固定） 720P / 27.5fps ※リアカメラが接続されていない 場合のみ[1080P / 27.5fps]と [720P / 27.5fps]を選択することが できます
WDR	明暗差の激しい環境で発生する黒つ ぶれや白飛びを軽減するWDR（ワ イドダイナミックレンジ）を設定しま す。 ※フロントカメラ、リアカメラ共通 で有効となります [オン] : WDRを有効にします [オフ] : WDRを無効にします	オフ/ オン

各種設定

メニュー画面について

※**太字**は初期値

設定項目	設定内容	設定値
露出補正	カメラ映像の明るさを補正します。 +側に設定すると明るく、-側に設定すると暗くなります。	+2.0/+1.7/+1.3/+1.0/+0.7/+0.3/ +0.0 /-0.3/-0.7/-1.0/-1.3/-1.7/ -2.0
スクリーン設定	液晶画面のスクリーンオン（画面表示）/オフ（画面非表示）を設定します。 [常時スクリーンオン] ：常に画面表示します [1分後にスクリーンオフ] [3分後にスクリーンオフ] [5分後にスクリーンオフ] ：●分後に自動的にスクリーンオフ	常時スクリーンオン 1分後にスクリーンオフ 3分後にスクリーンオフ 5分後にスクリーンオフ
音声録音	録画中、本機周辺の音声を録音するか設定します。 [オン]：録音します [オフ]：録音しません ※録画停止中、ファンクションボタンで切り替えることも可能です→P.15	オフ/ オン
ループ録画時間	ループ録画時間を設定します。	1分/2分

各種設定

メニュー画面について

※太字は初期値

設定項目	設定内容	設定値
Gセンサー感度	Gセンサー（衝撃感知）の感度を設定します。 [低感度]：衝撃を感知しにくくなります [高感度]：衝撃を感知しやすくなります	オフ 低感度 標準感度 高感度
緊急ファイルの上書き設定	緊急録画フォルダ内の緊急録画ファイルがいっぱいになった時、ファイルを上書きするか設定します。 [オン]：上書きします [オフ]：上書きしません ※大切なファイルは、あらかじめパソコンへバックアップするようにしてください ※上書きしない場合、緊急録画フォルダが上限に達した際、緊急録画を行うことができません	オフ/ オン
車線逸脱警告	走行中、走行車線の逸脱を検出した場合、アラートメッセージを表示します。 車種によって、検出の補正方法が異なるため、本機を取り付けた車種に設定してください。 [セダン]：車高が低い車種 [ミニバン/SUV]：ミニバンやSUVといった車高が高い車種 [オフ]：検出しない	オフ セダン ミニバン/SUV

各種設定

メニュー画面について

※太字は初期値

設定項目	設定内容	設定値
前方衝突警告	走行中、自車が前方の車両への接近を検出した場合、アラートメッセージを表示します。 [オン]: 検知する [オフ]: 検知しない	オフ/オン
長時間運転警告	一定の時間を経過した時、休憩を促す案内をお知らせします。 [オフ]: 案内しない [1時間]: 1時間後に案内する [2時間]: 2時間後に案内する [3時間]: 3時間後に案内する	オフ 1時間 2時間 3時間
車速警告	設定した速度を超過した場合、アラート音とアイコンで表示します。	オフ 50km/h 60km/h 70km/h 80km/h 90km/h 100km/h
ヘッドライトリミイダー	周辺が暗くなると、ヘッドライト点灯を促す案内をします。 [オン]: 案内する [オフ]: 案内しない	オフ/オン

各種設定

メニュー画面について

※太字は初期値

設定項目	設定内容	設定値
駐車監視モード	駐車監視モード機能を有効にするか設定します。 [オン]: 有効にする [オフ]: 無効にする ※駐車監視機能について→P.40	オフ/オン ※オプション品の専用常時電源ケーブル (MA2) を接続している場合のみ、設定可能となります →P.43参照
言語	本機の言語を設定します。	English/繁體中文/簡体中文/日本語
リアカメラ上下反転	リアカメラ映像を上下反転させます。 [オン]: 上下反転する [オフ]: 上下反転しない ※取り付けた際、リアカメラ映像が上下反転している場合に設定を切り替えます	オフ/オン
自動フォーマット	毎月の初回起動時、自動的にフォーマットします。 [オン]: 自動的にフォーマットする [オフ]: 自動的にフォーマットしない	オフ/オン

各種設定

メニュー画面について

※**太字**は初期値

設定項目	設定内容	設定値
フォーマット	microSDカードのフォーマットを行います。 ※フォーマットする場合、ファイルが全て消去されますので、ご注意ください	キャンセル/実行
工場出荷設定	全ての設定を初期化します。 ※録画ファイルは消去されません	キャンセル/実行
ファームウェア更新	ファームウェアを更新します。 ファームウェアが保存されているmicroSDカードを本機に挿入すると、ファームウェアアップデートすることができます。 ※ファームウェアの更新については、弊社HPを参照ください	キャンセル/実行
情報	本機のバージョン、使用中のmicroSD情報及びイベントファイル数を確認することができます。	表示のみ



注意

- 工場出荷を行なった場合、各設定値を初期値に戻します。
- 長期間、本機を使用しなかった場合、各設定値が初期値に戻る場合があります。
- 必ず、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけた状態で操作してください。

安全運転支援機能

安全運転支援機能について

本機は、安全かつ快適な運転をサポートするための簡易的な安全運転支援機能が搭載されています。安全運転支援機能は、下記の5種類の機能をサポートしています。

- 安全運転支援機能は、運転車の負担軽減を目的としており、周辺の状況や走行状態の変化を補助的にお知らせする機能となります。
- 運転者は道路交通法に則った上、実際の道路状況に基づいて安全運転に努めてください。万が一、それに伴う損失が発生しても弊社は一切のその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機能は、運転のサポートであり、事故を未然に防ぐためのものではありません。また、すべての安全を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の安全運転支援機能にしましては、ご使用中の状況、周囲の環境、気象状況等により作動しない可能性があります。
- 本機能に頼らず、補助的なメッセージやアラートとしてご使用ください。
- 本書に従って正しく使用していた場合であっても、動作を完全に保証するものではありません。
- GPSを受信していない状態では動作しません。
- 車両の方向指示器やスピードパルスとは連動はしません。
- 安全運転支援機能は、二つの警告を同時に作動させることができません。先に作動している機能が優先となります。
- 運転中に運転者が調整することは絶対にしないでください。
- 以下のような場合は、正しく動作しない場合があります。
 - ・降雨時の反射や建物の影などにより、車線等が正しく認識できない場合
 - ・前方車両の形状や色、光(明るさ)の加減などによって認識できない場合
 - ・天候(雨、雪、濃霧、ワイパー使用中)、時間帯(朝方、夕方、夜間等)、逆光による状況変化がある場合
 - ・交通状況(渋滞、歩行者)による変化がある場合
 - ・前方の対象物が四輪車(普通自動車、軽自動車)以外の場合
 - ・道路舗装状況、車線表示に劣化がある場合
 - ・フロントウィンドウに映り込みがある場合
 - ・フロントウィンドウに汚れがある場合
- 取り付け車種によっては、検出誤作動することがあります。頻繁に誤作動する場合は、設定をオフにすることをお勧めします。

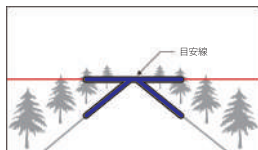
キャリブレーション

安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーション(補正)を行なってください。

画面中央に以下の青い目安線が表示されます。

車両を平らで見通しの良い場所に停車させ、目安線に合わせて本機の取り付け位置や角度を調整します。

※キャリブレーションは必ず、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください



目安線が道路の地平線と走行車線に重なるように、本体を上下左右に動かして調整してください。

安全運転支援機能

車線逸脱警告

走行中(時速約60km/h以上)、走行車線の逸脱を検出した場合、音声及びメッセージで警告を行います。



注意

方向指示器と連動していませんので、
車線変更時でもアラートメッセージが表示される場合があります。

前方衝突警告

走行中(時速約60km/h以上) かつ前車との距離が約20m以下になった場合、音声及びメッセージで警告を行います。



注意

前方への急な他車の割り込みがあった場合、検出できない場合があります。

長時間運転警告

電源ONしてから、設定された時間を経過した時、リフレッシュを促すため、音声及びメッセージで警告を行います。



安全運転支援機能

車速警告

走行速度が設定した速度を超過した場合、音声及びアイコン表示で警告を行います。
設定した速度以下になると、音声及びアイコン表示が消えます。

＜速度超過していない場合＞



＜設定している速度よりも速度超過している場合＞



注意

車両のスピードメーターと連動していませんので、実際の走行速度と誤差がある場合があります。

ヘッドライトリマインダー

地下や駐車場及びトンネルなどへの進入時や退出時、また日の出、日の入り等の時間帯の変化により、周囲の明るさが暗くなった場合、音声及びメッセージで警告を行います。



注意

季節や天候により、警告のタイミングは毎回異なる場合があります。
トンネルなど、明るくなったり、暗くなったりする状況が連続する場所では、繰り返し警告される場合があります。



注意

- 前方衝突警告は、普通自動車、軽自動車を対象としています。小型自動車や原動付自転車、特殊自動車に対しては検出できない場合があります。
- 前方衝突警告は、先行車との距離、位置、周囲の状況、明るさ、気象条件によって、正しく作動しない場合があります。また、先行車の形状や色等により、正しく作動しない場合があります。
- 前方衝突警告や車線逸脱警告は、先行車以外の周辺物や景色、環境の変化でも警告する場合があります。
- 車線逸脱警告は、雨天、走行レーン、車線表示の汚れ等、条件によっては正しく作動しない場合があります。
- 車速警告は、GPS情報を基に作動するため、実際の速度と誤差があります。

再生モード

再生モードへの入り方

撮影した録画ファイルを再生もしくはファイル消去する場合は、以下の手順で操作することができます。

- 1 録画中の場合は、ファンクションボタンの[録画/録画停止]ボタンを押下して、録画を停止する。
- 2 ファンクションボタンの[再生モード]ボタンを押下して、再生メニュー画面に切り替える。 →P.15

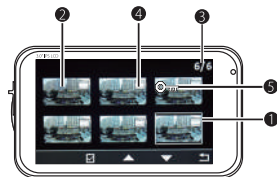


注意

- 再生モード画面中（再生中は除く）、約15秒間無操作状態が続くと、自動的に録画中画面に切り替わり、ループ録画が開始されます。

再生モード画面

- 1 **カーソル**
現在、選択している再生ファイルを表示します。
- 2 **ファイル表示**
記録されたファイルを表示します。
※ファイルがない場合は、「ファイルがありません」と表示されます
- 3 **ファイル数表示**
現在選択しているファイル数を表示します。
- 4 **録画ファイルアイコン**
録画ファイルの場合、映像ファイルアイコンを表示します。
※静止画ファイルの場合は、アイコン表示がありません
- 5 **ロックアイコン**
緊急録画ファイルと駐車監視録画ファイルの場合、ロックアイコン（）が表示されます。
※駐車監視録画ファイルはロックアイコンが表示されますが、上書きされます



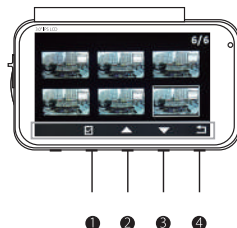
映像ファイルがない場合



再生モード操作方法

記録した録画ファイル、静止画ファイルを一覧表示します。

- 1 **決定ボタン**
現在、選択している再生ファイルを決定して、「ファイル再生画面」に切り替えます。
※ファイルがない場合は切り替えることができません
- 2 **▲(UP) ボタン**
カーソルを移動します。
- 3 **▼(DOWN) ボタン**
カーソルを移動します。
- 4 **BACK ボタン**
一つ前の画面に戻ります。



再生モード

ファイル再生画面

再生モードで選択された録画ファイルを表示します。

- 1 消去ボタン**
表示されている録画ファイルを削除します。
※「ファイル削除選択画面」に切り替わります
※「再生モード画面」でロックアイコンが表示されているファイルを選択している場合は、「ロック解除確認画面」に切り替わります
- 2 ▶(再生) ボタン**
表示されている映像ファイルを再生します。
- 3 ▲(UP) ボタン**
一つ前の映像ファイルに切り替えます。
- 4 ▼(DOWN) ボタン**
一つ後の映像ファイルに切り替えます。
- 5 BACK ボタン**
再生モード画面に戻ります。



ロック解除確認画面

再生モード画面でロックアイコンが表示されているファイルを選択した場合に限り、本画面に切り替わります。ロックを解除することで、ファイルを削除することができます。

- 【実行】**
ロックを解除して、「ファイル再生画面」に戻ります。
※「ファイル再生画面」に戻ると、ロックアイコンは表示されなくなります
- 【キャンセル】**
ロック解除をキャンセルして、一つ前の画面に戻ります。



ファイル削除選択画面

現在選択されているファイルもしくは全ファイルを削除するかを選択します。

- 1 決定ボタン**
カーソル（ハイライト）で選択されている項目を実行します。
 - ・「このファイルを削除する」を選択した場合、「削除確認画面」に切り替わります。
 - ・「全てのファイルを削除する」を選択した場合、「全ファイル削除確認画面」に切り替わります。
- 2 ▲(UP) ボタン**
カーソル（ハイライト）を切り替えます。
- 3 ▼(DOWN) ボタン**
カーソル（ハイライト）を切り替えます。
- 4 BACK ボタン**
一つ前の画面に戻ります。



再生モード

削除確認画面

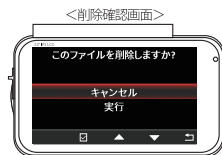
再生モードで選択された録画ファイルのみを削除します。

【実行】

削除を実行して、「ファイル再生画面」に戻ります。

【キャンセル】

削除をキャンセルして、一つ前の画面に戻ります。



全ファイル削除確認画面

ループ録画(通常録画) ファイルと静止画ファイルを全て削除します。

※ループ録画(通常録画) フォルダ内および静止画フォルダ内全てのファイルを削除します

【実行】

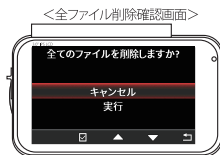
削除を実行して、「ファイル再生画面」に戻ります。

※再生可能な録画ファイル、静止画ファイルが一つもない

場合は、「録画中画面」に戻り、録画を開始します

【キャンセル】

削除をキャンセルして、一つ前の画面に戻ります。



注意

- 削除された録画ファイルは復元できません。削除する前に必ずバックアップしてください。
- 全ての録画ファイルを削除する際、緊急録画フォルダ内の録画ファイルおよび駐車監視録画フォルダ内の録画ファイルは、録画時点でファイルがロック(保護)されているため、削除することはできません。
- ロックされている録画ファイルを削除する場合は、ロック解除することで、削除することができます。

駐車監視機能(駐車監視モード)

駐車監視機能について

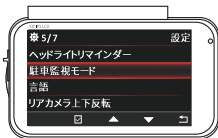
はじめに、駐車監視機能をご使用するには、オプション品のMA2(常時電源ケーブル)が必要となります。→P.43参照

本機は、エンジンをオフにした状態でも、衝撃を感知すると、緊急録画を行うことができる「駐車監視機能」が搭載されています。

駐車監視機能を使用する場合は、駐車監視モード設定がオンに設定する必要があります。

駐車監視機能の設定

- 1 メニュー画面の「駐車監視モード」を選択します。



- 2 [オン]を選択します。

※駐車監視モードの設定が[オフ]になっている場合は、駐車監視機能は作動しませんので、ご注意ください



駐車監視モードの入り方

- 1 車のエンジンをオフ(アクセサリ:オフ)にすると、右図の「駐車監視モード開始前」画面が表示されます。
- 2 30秒後に「駐車監視モードスタンバイ(画面は黒画面)」状態に切り替わります。
※この時、本体のLEDが緑色に点灯します
※「駐車監視モード開始前」中に衝撃を感知しても録画されません

＜駐車監視モード開始前画面＞



駐車監視モード録画について

駐車監視中に衝撃を感知すると、自動的に録画を開始しますが、画面は黒画面のままとなります。
駐車監視モード時の録画は、衝撃を感知した時点から30秒間録画を行います。

駐車監視モード終了について

駐車監視モード時に、車のエンジンをオン(アクセサリ:オン)にすると、駐車監視モードが解除され、本機が、通常起動します。



注意

- 録画時は本体LEDが赤色に点滅します。
- 駐車監視モード時の衝撃感知については、Gセンサー感度設定とは連動していません(内部固定センサー値で感知します)。
- 駐車監視録画中にエンジンをオン(アクセサリ=オン)して通常起動した場合、駐車監視録画ファイルは途中まで録画されているファイルが生成されますので、必ずしも30秒間のファイルとは限りません。

PCビューワー (Car DVR Player)

PCビューワーについて

専用のアプリケーションを使用することで、録画した映像をPC上で再生することができます。

推奨動作環境

対応OS	Microsoft® Windows® 8、8.1 (64bit) Microsoft® Windows® 10 (64bit)
CPU	2.2GHz以上で2コア以上のCPU
メモリ	RAM 8GB (DDR3) 133MHz 以上
HDD	100MB以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer® 11以降
その他	NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者 (Administrator) 権限が必要な場合があります ※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしていません ※インターネット環境が必要となります ※オフラインでも再生操作等は可能ですが、地図表示や地図との連携および本ソフトの更新はできません

PCビューワーのダウンロード

以下、弊社ホームページより専用PCビューワーソフトをダウンロードしてください。使用方法などの詳細な説明はホームページ上にあります。

http://www.innovativesale.co.jp/link/goods/diletto/manual/DRT-200MA_PCviewer_manual.pdf



注意

- パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- 上記およびホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証していません。
- 自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証していません。
- パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
- パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店にお願いします。仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
- パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。
下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因と対応
●電源が入らない。 ●電源が落ちしてしまう。	●シガー電源ケーブルまたは常時電源ケーブルのヒューズが切れている場合があります。 →シガー電源ケーブルまたは常時電源ケーブルのヒューズを交換してください。 ●シガー電源ケーブルまたは常時電源ケーブルの接続不良の可能性があります。 →シガー電源ケーブルまたは常時電源ケーブルを一度外してから、再度接続し直してください。 ●スーパーキャパシタの充電が十分でない可能性があります。 →P.39「スーパーキャパシタについて」を参照してください。 ●電源を入れるタイミングにより、電源が入らない場合があります。 →スーパーキャパシタの特性上、機器の保護のため、一定の時間、電源が入らないよう設計されています。本機の故障ではございませんので、電源OFF後は10秒以上経ってから電源をONしてください。 ●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。 →本機は「-20℃～70℃」温度環境下で使用できます。 ●アイドリングストップ車など、アイドリングストップ中からエンジン再始動のタイミングで電圧降下が起こり、電源が落ちる場合があります。
●本機の表示や動作がおかしくなった。	●本機のシステムが誤動作を起こしている可能性があります。 →リセットボタンを押し、本機をリセットしてください。
●記録された動画、静止画が表示されない、または壊れている。	●microSDカードの損傷によりカードエラーが発生している可能性があります。 →microSDカードをフォーマットしてください。 →新しいmicroSDカードに差し替えてください。
●記録ができない。	●保護されたファイルがmicroSDカードの上限まで保存されている可能性があります。 →不要なファイルを削除してください。 →新しいmicroSDカードに差し替えてください。
●常時録画ができない。 ●撮影したファイルを本機以外で再生できない。	●本機もしくはパソコン以外ではファイルの再生はできません。 →本機で再生をおこなってください。パソコンで再生したい場合、パソコンのスペックにより再生できない場合があります。
●GPSが受信しない。	●トンネル内やビル群、山間部などGPS電波を遮るような環境では受信しにくい場合があります。 →P.39「GPS受信について」
●安全運転支援機能が動作しない。または誤動作する。	●本機の安全運転支援機能は、車両のシステムとは異なり、簡易的かつ補助的な機能となります。 →P.30「安全運転支援機能について」
●映像画面が突然赤くなる。 ●映像画面にノイズが出る。	●光源がなく、真っ暗な状態から急に明るい環境になった場合もしくは真っ暗な状態になった場合に一瞬だけ映像画面が赤く表示されたり、ノイズが発生する場合があります。 ※起動直後、カメラ映像が一瞬、赤くなる場合もあります →カメラセンサーの性質であり、本体の異常ではありません。
●緊急録画が頻発する。	●Gセンサーの感度を高感度に設定していると、センサー感度が高まります。 →Gセンサーの感度設定を見直してください。
●駐車監視モードに入らない	●駐車監視機能の設定はオンですか？ →設定をオンにしてください。
●他の車載器に影響が出る。 (テレビが映らない等)	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。 また、ETCアンテナ付近に設置すると誤動作する場合があります。 →テレビ、ラジオ、ETCアンテナ等から50cm以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。 また、車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。

常時電源ケーブル(MA2)について

駐車監視専用常時電源ケーブルについて(オプション品型番=MA2)

- 駐車監視モードを使用する場合、オプション品の専用常時電源ケーブル(MA2)を使用してください。
- 常時電源ケーブル(MA2)を使用する際、本体ソフトウェアを変更する必要があります。
詳しくはホームページをご参照ください。
- 安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。
- 端子の向きにご注意ください。また、無理に接続したり外そうとすると、本体端子およびケーブル端子が破損する場合があります。
- 駐車監視モード中は車両の常時電源(車両バッテリー)を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。
定期的な車両バッテリーの点検を行なってください。
次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますので、駐車監視モードのご使用を控えてください。
 - ・ 毎日走行しない方
 - ・ 1日の走行が1時間以下の方
 - ・ 車両バッテリーを1年以上使用している方※上記はあくまで目安ですので、バッテリーのコンディションを確認するようにしてください
- 本機に使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取り付けおよび配線の取り回しは運転の妨げにならないように行なってください。
- 車両自体の安全装置(エアバッグや安全運転支援システム等)に影響がない場所へ取付けてください。
- 車両のシステム(ハイブリッドシステムや電気自動車等)によっては、期待した動作にならない場合があります。あらかじめご了承ください。

常時電源ケーブルの配線について

- 配線には専門の知識と技術が必要となりますので、販売店または専門技術者へ依頼してしてください。
- 常時電源ケーブルは、必ず車両ヒューズ(10A以下)を通った後の配線へ接続してください。
- 車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 車両のヒューズボックスから電源を取る場合は(ギボシ部分をヒューズ型に変換するケーブルを使用する)、市販品のヒューズ変換品をご使用ください。
- ヒューズ形状には種類がありますので、取り付ける車両のヒューズを必ず確認してください。
- 市販品/パーツを接続した場合の車両および本機の故障については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 市販品/パーツについてのお問い合わせは、電装品販売店へお問い合わせください。
- 必要に応じて、エレクトロタップ等を使用して接続してください。エレクトロタップを使用する場合、電線ケーブルの太さに合った物をご使用ください。太さが合っていない場合、正しく接続できません。

常時電源ケーブル(MA2)について

常時電源ケーブル接続時の注意

- 常時電源ケーブルの電源供給配線は、ヒューズボックスからの電源取り出しを推奨いたします。
- カーナビゲーションやカーオーディオ、シガーソケット等から電源を取り出すと、車両によっては電源が入らない場合があります。
また、アイドリングストップ時に電源が落ちたり、正常な動作をしない場合があります。そのため、電源電圧監視ユニットの電源取り出しは、ヒューズボックスから電源を取り出すようお願いします。
※ヒューズから電源を取り出す場合、市販品のヒューズ変換品をご使用ください(本製品に付属されておりません)。
- カーナビゲーションやカーオーディオ配線利用をし、エレクトロタップをご使用する場合、エレクトロタップのサイズによっては、配線がうまくみ合わず(断線等)、電源が入らなかったり、使用中に電源が落ちたりする可能性がありますので、適切なエレクトロタップのサイズで配線処理するようにお願いいたします。
また、エレクトロタップで処理した際は、通電テスター等で導通確認をするようお願いいたします。

本体起動中の電源オフ操作についてのご注意

- 本製品は、駐車中(エンジンオフ状態)において衝撃を感知すると、自動的に録画を行う「駐車監視機能」が搭載されています。
設定項目内にある「駐車監視モード」の設定で[オン]を選択されている場合、エンジンをオフにすると、駐車監視機能が働きます(詳しくは取扱説明書のP.40を参照ください)。
- 駐車監視中(エンジンオフ状態)、エンジンをオンすると駐車監視モードを解除し、通常起動しますが、通常起動中(オープニング画面が表示している間)に、再度エンジンをオフ(本体電源をオフ)すると、異常電圧による故障を防ぐため、本体の電源保護回路が働き、本体起動を強制的に止めます。
その場合、エンジンオフであっても駐車監視モードに切り替わりませんので、ご注意ください。
上記の操作により、本体の電源が入らなくなった場合、再度、エンジンをオンして、本体を通常起動(通常録画が始まるまでお待ちください)させてから、再度エンジンをオフにしてください。
※本動作は故障ではなく、仕様動作となりますので、予めご了承ください。

ソフトウェアダウンロードについて

- 常時電源ケーブルを使用する場合は、以下のホームページサイトから対応されているソフトウェアをダウンロードし、本体にインストールする必要があります。適切なソフトウェアをインストールせずに常時電源ケーブルを接続しても、正常に動作しませんので、常時電源ケーブルを使用する際は、必ず専用のソフトウェアをインストールしてください。

●ソフトウェアダウンロードについて

http://www.innovativesale.co.jp/link/goods/diletto/manual/drt-200ma_Update_Manual.pdf

その他

スーパーキャパシタについて

本機搭載のスーパーキャパシタは、急に電源が遮断されたときに現在録画している映像の破損を防ぎ、安全にデータ保護するためのバックアップ用電源です。初めてご使用になるときや長期間使用されていないときは、スーパーキャパシタの特性上、電気容量が少ない状態となります。その場合は、電源オン後、必ず「3分以上」本体充電をしてから本機の電源をお切りください。3分未満の充電で電源をお切りになった場合、録画している映像が正しく保存されない場合がありますので、ご注意ください。

リアカメラについて

本製品専用のリアカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。

本機に電源が入っている状態で、リアカメラケーブルを抜くと、システム保護のため、本機は再起動します。電源がオンの状態

SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。

定期的なフォーマット(SDカード内を初期化すること)をお勧めします。

※SDカードについておよびフォーマットについてはP.11～12を参照してください

※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています。

GPSについて

GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。

衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本機のGPS機能が作動しないため、GPSの機能が正常に働きません(トンネル・地下道・地下駐車場・建物内・ガレージ内・ビル群に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・樹々の多い森の中など) その場合は、車両の場所を移動して、再度、確認してください。

速度情報は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が生じる場合があります。また、停車中状態であっても、速度表示が「0km/h」にならない場合がありますが、これはGPS受信の誤差によるものであり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

本機内にGPSが内蔵されています。本機に塗装やシール貼付等しないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。

車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性があります。

車両のフロントウィンドウガラスに特殊加工が施されている場合は、GPSが受信できない可能性があります。

本機から各車載機器(※1)および各アンテナ(※2)からなるべく離れた位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離れて、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設定してください。

日時保持期間について

本機はGPS受信機を搭載していますが、GPSの受信ができない環境が長時間続いた場合、内部の時計保持機能がリセットされる場合があります。その場合、GPSが受信できる環境へ移動すると、正確な日時を取得・表示することができます。

別売(オプション品)について

<microSDカードについて>

microSDカードは消耗品となります。microSDカードが使用できなくなった際は、弊社オプション品のmicroSDカードをお買い求めください(microSDカードは消耗品のため、保証の対象とはなりません)。

<専用常時電源ケーブルについて>

駐車監視モード機能を使用するには、オプション品の専用常時電源ケーブル(MA2)をお買い求めください。

その他

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折り含む)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

SONY STARVIS™ (スタービス) について

本機のフロントカメラには、夜間やトンネル内等の暗い場所でも明るく撮影をすることができる高感度・高画質を実現した裏面照射型画素技術の「STARVIS」を採用したCMOSイメージセンサーを搭載しています。

※STARVIS (スタービス) 搭載は、フロントカメラのみとなります

※STARVIS (スタービス) および **STARVIS** は、ソニー株式会社の商標です

製品仕様

品番	DRT-200MA
商品名	リアカメラ付ドライブレコーダー
ディスプレイ	3.0インチ
フロントカメラ イメージセンサー	SONY STARVIS™ CMOS sensor
最大記録画角	167°
フレームレート	27.5fps
f値	f1.8
リアカメラ イメージセンサー	SONY Exmor CMOS sensor
最大記録画角	153°
フレームレート	27.5fps
f値	f1.8
ループ録画時間	1分/2分
録画ファイル容量 ※1	常時:約60分(※2)・緊急:20ファイル・駐車監視:40ファイル
緊急録画上書き設定	○
動画解像度 ※3	フロント: 1920×1080/1280×720・リア:1920×1080
静止画解像度 ※3	フロント: 1920×1080/1280×720・リア:1920×1080
WDR	○(フロント・リア)
駐車監視モード ※4	○
安全運転支援機能	○
音声録音	○
Gセンサー	○
GPS	○
専用ビューワー	○(ホームページよりダウンロード)
ファイル圧縮方式	動画:MOV・静止画:JPEG
電源電圧	DC12V～24V
消費電流	フロント:約600mA・リア:約450mA
動作温度	-20℃～+70℃
保存温度	-30℃～+80℃
内蔵電池(有無/容量)	スーパーキャパシタ
本体サイズ	約89.8 (W) x 26.8 (D) x 55.7 (H) mm
本体重量	約83g
リアカメラサイズ	約73 (W) x 26 (D) x 36 (H) mm
リアカメラ重量	約28g
対応SDカード	16GB/Class10以上

※1 静止画ファイルの保存データ数や録画データの内容によっては、変動する場合があります

※2 microSDが16GBの場合

※3 リアカメラが接続されていない場合(フロントカメラのみ)、1280×720の設定が可能となります

※4 駐車監視機能を使用する場合は、オプション品の専用常時電源ケーブルが必要であり、駐車監視モード設定を「オン」にする必要があります

